



「病児保育室めばえ」は、保護者が安心して就労できるよう、発熱などで自宅療養が必要なお子さん（生後6か月から小学6年生）を一時的にお預かりする、宗像市の片山医院敷地内にある保育室です。

この度、最大8部屋の個室を確保できる保育スペースを備えた新棟が完成し、4月からサービスを拡充します。

新たに、新型コロナウイルス罹患児の受入を開始するとともに、看護師らがタクシーで園や学校へ代わりにお迎えに行く「お迎えサービス」の対象を、未就学児から小学6年生まで大幅に拡大します。

お迎えから預かりまで一貫してサポートする、子育て世帯の強力な味方がパワーアップします。



《新型コロナウイルスの受入が可能な新棟》



《小学生まで対象拡大のお迎えサービス》

【「病児保育室めばえ」リニューアル 概要】

リニューアル開始日：令和8年4月1日（水）

場所：病児保育室めばえ（宗像市稲元1035番地6 片山医院敷地内）

内容：

- ・個室型保育スペースの整備（最大8部屋）
- ・新型コロナウイルス感染症罹患児の受入開始
- ・送迎サービス対象を未就園児から小学生まで拡大

【背景】

宗像・福津・古賀・新宮の3市1町では病児保育の広域利用が進み、令和5年には利用料が実質無償化されました。これにより、利用件数が急増し、運営者の「どんな子も、安心して預けられる施設にしたい」という思いから、数年をかけて隔離個室とスタッフを確保し、受入体制を整えました。その結果、近隣（福岡市、北九州市を除く）では対応していない新型コロナウイルス感染症罹患児の受け入れや、「お迎えサービス」の対象拡大が実現しました。

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

記事について：宗像市子ども育成課 担当：吉田、深浦 TEL：0940-36-3181

取材について：病児保育室めばえ 担当：新村 TEL：0940-32-8782